

▲ 石下紫峰だより NO.1

1 平成28年度入学式

平成28年4月7日(木)、石下紫峰高等学校となって8回目となる入学式が挙行されました。当日は、県議会議員、飯田智男様、石下中学校長、草間典夫様、石下西中学校長、近納代幸様をはじめ、多数の来賓をお迎えする中、厳粛な雰囲気です式が進行しました。

校長からは新入生に、「皆さんがここにいるのは、家族をはじめとする様々な方のこれまでの支えがあることをしっかりと胸に刻み、感謝の気持ちを忘れることなく、高校生活の第一歩を踏み出し、校訓である「未来を拓く」を胸に、高校3年間で人生の目標を見つけ、社会に貢献できる人材となることを願っている。」との式辞が贈られました。



(入学許可書の授与)

2 千姫祭り

常総市では、徳川家康の孫娘である千姫のお墓が常総市の弘経寺にあることにちなんで、まちの活性化を目的に、平成13年から「千姫まつり」を行なっています。

本校吹奏楽部員は、当日、風が強く、桜舞い散る中、赤じゅうたんの上で、元気一杯、「AAO」、「花は咲く」、「365日の紙飛行機」を演奏していました。



(吹奏楽部の演奏)

3 1年次オリエンテーションキャンプ

さしま少年自然の家で、4月27日(水)から、1泊2日の宿泊学習を実施しました。

オリエンテーションキャンプでは、職員から石下紫峰高校での学習内容・カリキュラムや高校の歴史、校歌ができるまで経緯についての説明とオリエンテーリング、箸づくりなどのレクリエーションが行われました。1年次生は、職員の説明に真剣に耳を傾け、またレクリエーションでは、交友関係を深めていました。



(入所式)

(生徒感想)

・初めての友達と話で盛り上がったり、写真を撮ったりと普段の生活ではできないことがたくさんできて、すごくいい経験ができました。先生の話もそうだなーって思うことが、たくさんありました。今回のオリエンテーションキャンプは、すごく勉強になることがあり、これからの生活に生かしていきたいです。

・ガイダンスⅠでは、進路を決めることの大切さを学び、進路を今から考えていこうと思いました。ガイダンスⅡでは、紫峰高校の校歌ができるまでを聞き、感動しました。夢をずっと追いつける気持ちと一度はくじけても、またやろうと思うキョ(本校校歌作曲家)の気持ちがとても心に残り、自分も今の夢をずっと追いつけようと思いました。

- ・このオリエンテーションキャンプを通して、改めて集団行動の大切さ、というのを感じました。いまままで話したことの無い人とも、同じ部屋になったりとかで話せました。仲良かったなって思った人とはよけいに仲良くなれた気がします。
- ・オリエンテーションキャンプを体験して学んだことが、たくさんあります。1つ目は、石下紫峰高校では2、3年次で自由選択科目でいろいろなことが学べたりするため、夢に向かってたくさんの方が学べることです。2つ目は、人との交流です。オリエンテーリングや箸づくり、グループエンカウンターなど、たくさん交流できる体験ができました。この体験をきっかけにいろいろな人と交流できるといいなあと思いました。
- ・石下紫峰高校ができるまで、こんな苦労があったんだなあと思いました。石下紫峰高校をつくるまでに関わっていただいた人たちに感謝をしながら、これからの学校生活を楽しく過ごしていきたいと思いました。石下紫峰高校の校歌はとてもいいと思います。
- ・石下紫峰高校についてたくさん知ることができました。授業のことや生活をしていくうえで、どうゆうことが大切かなど、たくさん知ることができ、また、石下紫峰高校の校歌や歴史についても深く学ぶことができとてもよかったです。オリエンテーションキャンプは団体行動だし、移動するときだけでも大変だったけど、みんなで協力して1泊2日を過ごせたとし、一人一人が自分のすべき仕事をやり通せたとしと思うし、この環境が変わった中で、自分たちが協力しあいながらやり通せたのはすごいと思いました。



(みんなと仲良く夕食)

4 平成28年度デュアルシステム開講式

本校では、2年次に選択授業とし勤労観、職業観を育むことをねらいとし、企業と高校が連携・協力し、実践的・実践的な職業知識や技術・技能を養う教育(デュアルシステム)を実施しています。

今年度は、5月18日(水)に、県議会議員、飯田智男様、高校教育改革推進室長をはじめとする3名の教育庁職員の来賓の中、平成28年度の開講式が実施されました。

本年度の受入れ企業は10企業で、希望生徒16人は、これから15回にわたる企業研修を実施することになります。参加生徒は、全員が緊張した面持ちで、式に臨んでいました。



(開講式あいさつ)